

令和4年度 通常総会

# 会長に伊藤述史 前理事

## 副会長は三橋・長尾 両俊英



三橋 副会長



伊藤 会長



長尾 副会長

日整は令和4年度の通常総会を6月26日(日)、午後1時から日本柔整会館で開催し、昨年度の決算案、本年度の会費免除

日整

トピック

発行 公益社団法人 日本柔道整復師会  
発行人 伊藤述史  
編集人 山崎邦生

### 〔会長選〕

会長候補理事の選任ならびに会長の選定(定数1名)  
立候補者 東京都 伊藤述史会員  
投票総数97票(うち議決権行使書3票)  
有効得票数70票 無効票27票

### 〔副会長選〕

副会長候補理事の選任ならびに副会長の選定(定数1名)  
立候補者 京都府 長尾淳彦会員  
投票総数97票(うち議決権行使書3票)  
有効得票数69票 無効票28票

者案を議場に諮り、原案どおり可決した。会長及び副会長候補理事各1名、並びに会長及び副会長の選定においては、代議員の過半数の得票を得て会長に伊藤述史(前理事69歳(東京会長)が第20代の日整会長に就

任した。副会長には現職の長尾淳彦副会長64歳(京都会長)の再任が決まった。(投票結果は左表を参照) 松岡保会長は体調不良で療養中のため、出馬を断念せざるを得ない状況にあった。総会の日も出席することが叶わず、会長職退任の挨拶文を三橋裕之副会長が万感の思いを込めて代読した。

援と協力を呼びかけると同時に、日整執行部に対し、業界が抱える諸課題の解決に向け一致団結して全力の傾注を願うものであり、業界を心から思う真情がしたためられていた。

強い決意を表明した。料金改定の抜本的な改革など、多くの課題解決と業界発展に向けて伊藤体制がスタートした。

### 代議員92名出席

議長に福井県の宮下治由会員、副議長には宮城県 櫻田裕会員が選任され、議事進行を務めた。総会は定款第17条に基づき、代議員総数97名の過半数、49名以上の出席をもって成立する。岡田安正事務局長からの報告で、出席代議員は92名、代理人選任届によるものが2名、議決権行使書によるものが3名により、議長は通常総会が有効に成立することを宣した。

再び信任を得た長尾副会長は、筆頭の三橋副会長と共に会長を強力にサポートする両俊英として期待される。

議長録署名人に北海道の小池良二会員と山口県の藤本義秀会員が議長から指名された。会長及び副会長選については、選挙管理委員会の深井伸之委員長(東京都)と大室正美副委員長(山梨県)ほか9名の委員が厳正な選挙を取り仕切った。

就任後にあいさつに立った伊藤会長は、関係省庁をはじめ関係団体とこれまで以上の信頼関係を構築していき、会員の現場の声を反映し、しっかりと組織運営をしていきたい、と抱負を述べ、力

2面に伊藤新会長の挨拶(要旨)を掲載

# 伊藤新会長の就任挨拶

## 要 旨

### 信頼回復に努力

今日はこの総会で代議員の先生方に信任していただいたこと、大変うれしく思っています。本来にありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。

今、私が真っ先にやらなければならぬことは、日整という組織の信頼回復に努めることです。そのためには、皆様と協力し合い一致団結して行動を共にしていくことです。そうしないと業界は信頼されません。筆舌に尽くし難いことで、日整に対する周囲からのイメージ



は決して良くないと思います。イメージ低下は業界のマイナスにつなが

### 好機として

総会の席上、このことについての質問があり、三橋副会長がお答えしましたが、会員の皆様は非常に苦労しています。私はこのことに非常に心を痛めており、皆様の経営が上向くように努めてまいります。

であると思っています。先般の柔整療養費検討専門委員会での議論された明細書発行の義務化など、オンライン会議の中で皆さんから意見を吸い上げ、議論を重ねなければならぬと思っています。その方向に向けて日整理事会でも説明します。

三つ目は、療養費の電子請求への移行です。これについても、なぜ必要か、どのように進んでいるのか、皆様に進行状況をお知らせしなければならぬと思っています。

## 料金改定の抜本改革を目指す

ていきます。相当な危機的状況になっているのは、と思っっています。外交的に当面、関係官庁や関係団体に向いて、しっかりとしました信頼関係を築いてまいります。

強い覚悟をもって邁進してまいります。

### 四つの公約

次にコロナ感染症をはじめ業界を取り巻く環境により患者数が減少していることへの対応です。

公約の一つとして健保連が提唱している償還払いに反対し、受領委任払い制度を堅持してまいります。二つ目は会員の増加を

多くの柔道整復師から信頼される日整を確立し、恒久的に安定した業界をつくらせてまいりますので、ぜひ、ご支援ご協力のほど、切にお願い申し上げます。